



■公文書管理について

私：今回トップ官庁ともいふべき財務省で発覚した、国有地取引をめぐる決算文書の改ざんや交渉記録の廃棄は誠に深刻な事態であります。本市において同じことがないように現状と課題についてお答えください。また、職員研修をどのように行い周知徹底していくのか、電子決裁をすることで更新履歴も残り、一定の抑止効果があると思うがいかがかお答えください。

総務部長：原則として文書管理システムで一元管理しており、收受・起案から始まる処理状況など把握できる状況になっている。保存期間が満了した文書についても再度、廃棄しても良い文書か確認をしたのち廃棄処理を行っており、公文書管理の徹底を行っている。職員研修も定期的を実施。高い意識・自覚を持つことに結びついている。電子決裁については、先進自治体の稼働状況など事例研究をし、検討していきたい。

■スポーツアリーナについて

私：5月25日付読売新聞に『稼ぐアリーナ建設中（経済効果133億円予想）』という記事を目にしました。スポーツ庁は維持費などがかさむ「コストセンター」から利益を生み出す「プロフィットセンター」への転換を目指しているとのこと。私は常盤平団地再生がこうしたアリーナ建設に最適と思うが民間のノウハウを活かし地域活性化につなげてはどうかお答えください。



総合政策部長：常盤平団地自治会、UR都市機構、松戸市の三者でまちづくり分科会を設置した。団地再生に合わせて、スポーツアリーナ建設の提案をしていきたい。

■市立松戸高改革するべき！

私：私が生まれた群馬県太田市は、太田市立商業高校を市立太田中・高一貫校へ変えました。結果、東京大学をはじめ国公立大学、有名私立大学に続々と入学をしています。加えてスポーツも盛んで、春季高校野球県予選ではベスト4はじめ、様々な部活動で関東大会に出場しています。例えば市民の声ですが、子どもが3人いる家庭について金銭的に私立高校へ進学させられない・・・であれば、柏市にある東葛飾中・高一貫校に行かせたいと思うのも自然であります。市立松戸高校もそうした市民の受け皿となるべく市立松戸高校に進学コース・スポーツ音楽コースを新設すべきです。



学校教育部長：市松改革は「学力」「グローバル」「部活動」を市松生の伸ばす資質に掲げ「市松が変える 市松で変わる」をスローガンに市教委と市立高校が一体となり進めている。具体的に高校2年次から文系・理系に分かれ、3年次から人文社会キャンパス、理数科学キャンパス、医療看護キャンパス、保育栄養キャンパス、体育音楽キャンパスの科目選択。

中高一貫校については、慎重に研究を進める段階と捉えている。

要望：ようやく市松にも特色ある専門キャンパスができたことに感謝申し上げます。一つ注文するなら群馬県太田市長は強力なリダーシップで中高一貫校を開設しました。市長にも同様に力を発揮していただき、必ず市立松戸中高一貫校を実現して頂きたいと思っております。